

# 第52回愛知県野生生物保護実績発表大会 ～輝く未来のいきものサポーター～ を開催しました

愛知県では、野生生物の保護意識の普及・啓発と、環境保全意識の高揚及び生物多様性の主流化を図るため、愛知の未来を担う子供たちが主体となって実践する取組を発表する本大会を1971年度から開催しています。令和4年度は、以下のとおり開催しました。

## 1 開催概要

### (1) 日 時

令和4年8月4日(木) 午前10時30分から午後3時50分まで

### (2) 場 所

刈谷市産業振興センター 7階 小ホール (刈谷市相生町1-1-6)

### (3) 発表団体

12団体(小学校4校、中学校2校、高等学校6校)

### (4) 参加者数

228名

### (5) 発表プログラム

別紙のとおり

## 2 入賞団体一覧

賞	入賞団体名
愛知県知事賞	岡崎市立美合小学校
〃	豊田市立上鷹見小学校
〃	愛知県立佐屋高等学校
愛知県教育委員会賞	岡崎市立生平小学校
〃	豊田市立滝脇小学校
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞	岡崎市立河合中学校
〃	岡崎市立東海中学校
〃	桜丘高等学校
〃	中部大学第一高等学校
公益社団法人愛知県獣医師会賞	愛知県立時習館高等学校
〃	愛知県立三谷水産高等学校
〃	愛知県立明和高等学校

—発表プログラム—

別紙

【午前の部】

時間	発表団体名	発表テーマ
10:15		開場(受付開始)
10:30		開会
10:40		発表開始
各発表時間 10分間 審査委員と の質疑応答 5分間 (各団体 計15分間 )	1.岡崎市立生 <sup>おいだいら</sup> 平小学校	野鳥がすみ続ける自然豊かな『生平』を目指して
	2.岡崎市立美 <sup>みあい</sup> 合小学校	生田蛭は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 2年目～
	会場入れ替え(15分間)	
	3.豊田市立滝 <sup>たきわき</sup> 脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう!滝脇の自然 守ろう!私たちの森 広げよう!地域へ
	4.豊田市立上 <sup>かみだきみ</sup> 鷹見小学校	自然と人とが共生するふるさと“鷹見の里”をつくろう
11:55頃		午前の部 終了

【午後の部】

13:05		開場(受付開始)
13:20		発表開始
各団体の 発表時間 10分間 審査委員と の質疑応答 5分間 (各団体 計15分間 )	5.岡崎市立河 <sup>かわい</sup> 合中学校	河合の宝 ゲンジボタル —伝統の継続 そして一歩前進—
	6.岡崎市立東 <sup>とうかい</sup> 海中学校	未来へつなぐ襷 ～東海の自然を次代につなぐ～
	会場入れ替え(15分間)	
	7.桜 <sup>さくらがおか</sup> 丘高等学校	タガメの繁殖の研究と生息環境に関する考察
	8.愛知県立時 <sup>じしゅうかん</sup> 習館高等学校	ニホンウナギをさがせ! 三河湾及び周辺地域の環境と魚類調査 ～環境 DNA 解析～
	9.中 <sup>ちゅうだいがくだいいち</sup> 部大学第一高等学校	ウシモツゴの飼育・繁殖
	会場入れ替え(15分間)	
	10.愛知県立三 <sup>みやすいさん</sup> 谷水産高等学校	野生生物を守るために、水産高校生にできること
11.愛知県立明 <sup>めいわ</sup> 和高等学校	明和高校周辺のタヌキ調査	
12.愛知県立佐 <sup>さや</sup> 屋高等学校	愛西市内用水路に生息するカメ類を中心とした生物相	
15:50頃		午後の部 終了・閉会

### 3 開催状況

【小学校の発表】	
1 岡崎市立 <sup>おいだいら</sup> 生平小学校	野鳥がすみ続ける自然豊かな『生平』を目指して
<p>「知る」・「広げる」・「守る」・「つなげる」をテーマに、各学年に応じた愛鳥活動を実施。野鳥の生態調査や学校の裏山の整備に励んでいるほか、他の小学校の取組を学び、自分たちの愛鳥活動に活用する検討を行うなど、周りとの繋がりを大切にしながら「人も野鳥もすみ続けられる学区」の発展に努めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
2 岡崎市立 <sup>みあい</sup> 美合小学校	生田蛭は「美合の宝」 ～トライ&エラー 自分で できることに 挑戦しよう 2年目～
<p>山綱川での清掃活動や環境調査を通じて、ホタルの生息環境を整備している。近年は一日当たりのホタルの成虫飛翔数が増加しており、令和3年度及び令和4年度は300匹を超える結果となった。「ホタル音頭」や「ホタル鑑賞会」を通じて、地域が一体となってホタルの保全に努めている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

3	豊田市立 <sup>たきわき</sup> 滝脇小学校	私たちの愛鳥活動 知ろう！滝脇の自然 守ろう！私たちの森 広げよう！地域へ
<p>6年間で「知る」「守る」「広げる」愛鳥活動を実践し、野鳥との共生に努めている。愛鳥活動の一環として行われる営巣調査では、各年の営巣成功率を比較し、ヘビ等の天敵から巣を守る方法について検討した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
4	豊田市立 <sup>かみたきみ</sup> 上鷹見小学校	自然と人が共生するふるさと“鷹見の里”をつくろう
<p>地域や学校外の人たちの助言・協力を得ながら、休耕田を活用したビオトープを創生し、草花の観察、生き物探しなどのビオトープ学習を実施。生徒を中心とした継続的な整備活動により、19種のトンボ、141種の野草が観察されるなど、豊かな生態系が形成されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

【中学校の発表】

5	<p>かわい 岡崎市立河合中学校</p>	<p>河合の宝 ゲンジボタル —伝統の継続 そして一歩前進—</p>
<p>学校周辺地域に生息する「生田蛩<sup>しょうだ</sup>」を絶やさぬよう、学校内で飼育した個体を水路へ継続的に放流している。飼育の際には、アサリ、サカマキガイなどのカワニナ以外の餌による成長の記録を比較する研究を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
6	<p>とうかい 岡崎市立東海中学校</p>	<p>次代へつなぐ私たちの宝 ～東海の自然を次代につなぐ～</p>
<p>宅地開発等の環境変化により生息数が減少したカワバタモロコの保護・繁殖活動を始め、水質調査・生物の観察、北山湿地の保全活動（地域のボランティア団体や岡崎市環境課と共同で実施）、広報活動に取り組んだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

【高等学校の発表】

7	さくらがおか 桜丘高等学校	タガメの繁殖の研究と生活環境に関する考察
絶滅危惧種であるタガメの生態について研究しながら繁殖に取り組んでいる。体重増加によるタガメの窒息死を減らすために、エサの量を減らして検証した結果、5 令幼虫から成虫になる割合が増加した。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
8	じしゅうかん 愛知県立時習館高等学校	ニホンウナギをさがせ！ 三河湾及び周辺地域の環境と魚類調査 ～環境DNA解析～
環境 DNA 解析により、三河湾及び周辺のどの地域にニホンウナギが生息しているかを調査した。ニホンウナギのDNAが検出された地点には、葦などの水生植物が繁茂し、水生生物の隠れ家となる場所が存在していることが確認できた。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
9	ちゅうふだいがくだいいち 中部大学第一高等学校	ウシモツゴの飼育・繁殖
日進市のウシモツゴを増やすことを目標とし、東山動植物園や碧南海浜水族館、岐阜大学の協力を受けて飼育、研究を行っている。中部大学第一高等学校で繁殖しているウシモツゴが、日進市系統であることを遺伝子解析により明らかにした。		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

10	愛知県立 <sup>みやすいさん</sup> 三谷水産高等学校	野生生物を守るために、水産高校生にできること  水産高校の特色を活かし、カワバタモロコなどの様々な水生生物の飼育・繁殖を実施している。飼育に利用した水を用いた野菜づくりや、ガンガゼ駆除活動にも取り組んでおり、学校全体で持続可能な社会の実現に向けた活動を実施している。
		 
11	愛知県立 <sup>めいわ</sup> 明和高等学校	明和高校周辺のタヌキ調査  市街地に生息するタヌキの生態について、排泄物に含まれる種子等や定点カメラによる画像解析を用いて調査した。排泄物には種子や昆虫片のほか、人間の生活ごみも含まれていることや、季節や時間帯ごとに一定の行動パターンがあることが確認できた。
		 
12	愛知県立 <sup>さや</sup> 佐屋高等学校	愛西市内用水路に生息するカメ類を中心とした生物相  学校周辺に生息するカメ類について、生物相調査及び生態実験を実施した。調査の結果、4種類のカメ類が確認できたものの、外来種であるアカミミガメが採捕個体の約9割を占めていた。今後は生態実験を重ね、在来のカメ類の生息数を増やす取組を模索していく。
		 